

研究種目：基盤研究（C）
研究期間：2007～2010年
課題番号：19592618
研究課題名（和文）感染症に強い地域ネットワーク構築を目指した教育と参画型介入の実証的研究

研究課題名（英文）Studies on education and precaution related in risk control for infection disease
—social network organization and simulation intervention—

研究代表者

三橋 睦子（MIHASHI MUTSUKO）

久留米大学・医学部・教授

研究者番号：50289500

研究代表者の専門分野：医歯薬学

科研費の分科・細目：看護学・地域・老年看護学

キーワード：感染制御，ネットワーク，感染症要援助者，教育介入

1. 研究計画の概要

感染症リスクコントロールの具体的対応策として、感染症に強い地域づくりを目指した地域住民への普及啓発活動の実践的方略を確立することを目的とする。

課題：

- (1) 感染症の要援助者である高齢者・小児・障害者の情報の取り方、生活の仕方、価値観などを調査し、適切な介入方法を展開する。
- (2) 対象の特性と教育内容、およびリスク認知との関連性を客観的に明らかにする。
- (3) 感染症の予防技術修得状況の分析。
- (4) 以上の活動を継続するためのネットワークを開発する。
- (5) 地域の人材育成やエンパワメントについて評価する。

2. 研究の進捗状況

感染症の要援助者およびそのサポーターへの感染防護グッズの考案と教育的介入を実施した。

1) 身体障害者への介入

対象：身体障害者 13 名。**方法**：感染防護グッズの作成とマニュアル作成、机上シュミレーションによる衛生行動および質問紙調査によるモニタリングの実施。**成果**：個人的衛生および衛生環境を保持するためには、サポーターが絶対的に必要であり、衛生行動および質問紙調査などから、教育の機会の必要性和サポーターへの感染症に関する教育的支援とマニュアル作成の必要性が示唆された。

2) 身体障害者のサポーターへの介入調査

対象：身体障害者のサポーター 54 名
方法：新型インフルエンザマニュアル作成、シュミレーション、グループヒアリング、最

終手洗い調査。**成果**：身体障害者への詳細な手洗い指導の方法を教育内容に加えてほしいとの意見が聞かれた。また、手の洗い残しは軽減し、サポーターの感染症への知識が高まり成果を認めた。マニュアル作成後は、地域において自立的活動の可能性も示唆された。

3) 聴覚障害者への介入調査

対象：聴覚障害者：25 名。**方法**：教育介入時に手話および要約筆記などの協力を得て、集団での教育介入を実施し、前後に質問紙調査を行った。**成果**：感染症に関連した教育受講経験が少ない実態を認めた。サポートがあれば、自立的に感染症についての支援を継続できる可能性が示唆された。

4) 視覚障害者への介入調査

対象：視覚障害者 61 名。**方法**：対象に合わせた点字ラベル、点字の説明書、上下がないタイプのマスクを使用するなどの試みで教育的介入を実施した。**成果**：感染症に関連した教育受講経験が少ない実態を認め、教育方法や防護具改善の必要性が示唆された。広域感染防護の視点から、障害者に対応した効果的なモデルを試案することが重要である。

5) 小学生とそのサポーターへの介入調査

対象：小学 5・6 年生 31 名とそのサポーター 45 名。**方法**：専用感染防護グッズの考案。新型インフルエンザに対応した衛生教育、衛生環境の調整、介入前後の質問紙調査および手洗い調査、ヒアリングを行う。**成果**：小学校における衛生環境調整の難しさとサポーターを含めた衛生教育が整っていない実態を認めた。システム化の必要性和可能性が明らかとなった。

3. 現在までの達成度

③やや遅れている。

感染予防における要援助である対象への介入調査について概ね順調に進展しているが、地域全体をネットワークするための各対象の活用が遅れている。

4. 今後の研究の推進方策

本年度は日本に在住の外国人を感染症要援助者として、教育的介入および調査を行う。平行して、これまで教育介入を実施した対象を中心に、ネットワークできるようなシステムの構築を推進する。また、各対象がエンパワーメントできるように、地域全体としての人材育成のシステム化に向けて、可能性を調査する。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計3件)

- 1) 立石和子, 佐藤祐佳, 田中恵子, 津村直幹, 三浦美穂, 毛利総代, 大坪靖直, 三橋睦子: 感染に関する事前教育の在り方の工夫—中・高校生を中心とした市民を対象として—: 久留米医学会雑誌, 2009年, 第72巻, 第7・8号, p252-257, 2009. 査読なし
- 2) 三橋睦子, 毛利総代, 三浦美穂, 津村直幹, 大坪靖直: 身体障害者を対象とした感染防御サポーター育成の試み, 日本災害看護学会誌, 11(3), p23~35, 2010. 査読あり

[学会発表] (計3件)

- 1) 三橋睦子, 毛利総代, 津村直幹, 三浦美穂, 大坪靖直: 感染症弱者である身体障害者への感染防御サポーター育成の試み, 日本災害看護学会第10回年次大会, 2008年, 別府市
- 2) 三橋睦子, 毛利総代, 津村直幹, 三浦美穂, 大坪靖直: 感染症弱者である視覚障害者への感染防止普及活動の試み—感染症に強い地域づくりを試みて—その2, 第11回日本災害看護学会, 2009年, 神戸市
- 3) 三橋睦子: 体験から学ぶ新型インフルエンザへの対応—その実際と今後の課題—, 災害看護支援機構 2009年度第2回災害看護セミ

ナー, シンポジスト: 2009年, 神戸市

[図書] (計0件)

[産業財産権]

○出願状況 (計0件)

名称:
発明者:
権利者:
種類:
番号:
出願年月日:
国内外の別:

○取得状況 (計0件)

名称:
発明者:
権利者:
種類:
番号:
取得年月日:
国内外の別:

[その他]